



美しい字を書くための

5つのポイント

① ヨコの線は、

「ほんの少し右上がり」
に書くこと

ヨコの線を引くときは、水平にヨコに引くのではなく、ほんの少し右上がりになります。ほんの少し、右上がりを書くことによって、感覚としてはまっすぐに見えるのです。右肩下がりのクセを持つ人は、ここに注意するだけで、みちがえるように美しい字の形になります。

② タテの線は、

「力強くまっすぐ」
書くこと

タテの線は、まっすぐ書くのが常識です。これはあたり前のルールですが、案外、守られていません。右に曲がったり、左に曲がったりすると、字は見にくくなります。タテの線は、力強く早く引くように心がけるようにします。

③ 漢字は、

「かなより2割大きく」
書くこと

漢字とかなが交じる日本文字は、その2つの文字のバランスが美しさのポイントになります。原則として漢字は「かな」よりも2割大きく書く、これが秘訣です。また、手紙など文章を書くときは、男性の場合は漢字4ひらがな6の割り合い、女性の

場合は漢字3ひらがな7の割り合いで書くと、男性は男性らしく、女性は女性らしい文章になります。

④ 漢字は「直線」を大事に

ひらがなは

「曲線」を大事に

字の形は、漢字とひらがなではまったくちがいます。漢字は直線で成り立ち、ひらがなは曲線から成り立っています。

美しい字を書くためには、その基本的な字の性格をよく心得て書くことが一番のポイントです。どんな字を書いても丸型になってしまふ人、また反対に角型になってしまう人は、この点に注意するだけでも、大変な進歩です。

⑤ 字と字の間は、

「等間隔で」を
心がけて

マス目の用紙に書く時は目立ちませんが、ケイのないハガキやレターペーパーで書くときは、字間や行間が不均等であると美しさがそなわれます。このバランスを大事にすれば、とても感じのよい字、文章になります。

頭が良くてもダメ字はダメ！

東京都三鷹市

滝沢 ○○○

(21歳)

私は、成績は悪くないし、目的の大学にも入学できた。しかし、私の字となると、これはもう、自分でも顔をそむけたくなるようにメチャクチャな字です。だから、私は、めったに字を書かない。ところが、大学生になって、レポートが大きなウエイトを占めるようになり、私は大きな悩みをかかえてしまった。書くテーマはすぐ見つかった。書くことが大問題！大学生が字の練習を始めるなんて笑われてしまいそうですが、私にとって『ペン字手習い』は、卒業論文と同じほど大事な勉強になりました。

ダメ子と言われた私

新潟県新井市

関口 ○子

(17歳)

私の字は、ほんとうにひどいクセ字です。とてもダメな字だから、ダメ子ダメ子といわれます。私だって、好きでそんなダメな字を書いているわけではありません。私は、母に文句を言った事もあります。すると母は「お父さんに似たんでしょ」と言いました。大人は、みんな無責任です。私は、自分で『ペン字手習い』をみつけて入会しました。早くクセ字を直したいからです。人には分らない私の悩み。同じ悩みを持っている人は、沢山いるのではないのでしょうか。

新しい自分発見

広島市

沼田 ○○○

(61歳)

やっと建てたわが家の書斎に腰をすえて、ふと、やってみたいなど思いついたのが『ペン字手習い』でした。お手本を手にした時、五十の手習いだが、私にはうれい日だった。

私は元来、タセ字がひどい人間で、その日の気持のちがいにによってバラバラな字を書くことが、永い間の習慣になっていました。むかし、い・ろ・は・に、というように先生の書く文字を真似て書いた頃の自分に返り、ゼ口から出発して習ってみたい。